

三河商人道

PART
185

ソニー生命保険(株)

部長

須藤 剛 君

青年部とは

「自分を成長させてくれる所」



【会社・仕事への思い】

大学卒業後、薬品会社に就職。その時の営業経験を活かし、30歳で今の仕事にチャレンジした。業界的には畑違いであったが、どうやったら顧客に信頼されるかを追求するという所は、営業職にはみんな同じであった。特に生命保険の仕事は、常には必要とされていないが、何かあった時には経済的にだけでなく、精神的にも役に立たなければならない。そうなれるように今後も努力をし続けて、これからもずっと顧客の人生にそっと寄り添っていけるようにしたい。

【青年部に入会されたきっかけ】

平成12年、これまで商工会議所に入っていた日本団体生命が破綻した。商工会議所で顧客を増やすには絶好の機会と考え、会社の仲間と2人で入会した。入会当時は誰も知り合いが居なかったため、ほとんど例会に参加しなかった。しかし、平成14年度にサッカー同好会が発足し、それをきっかけに仲間がたくさんでき、青年部へ意欲的に参加するようになった。

【趣味は・・・】

小学校5年生から始めたサッカーが今でも大好きで、青年部のサッカー同好会のチャーターメンバーでもあり、その他にもフットサル1チーム、サッカー2チームに所属している。「70才まで現役を続けるぞ！！」

【思い出に残る青年部活動】

青年部20周年の時、青年部も20才、つまり成人の会になる節目の時に先輩たちの議論が白熱した時があった。その時に自分の意見を恐れながらも勇気を出して言ったつもりが、完全にスルーされてしまったことがあった。とても悔しい思いをしたが、その時から自分の思っていることを相手にしっかり伝える！ということの大切さを強く意識出来るようになった。この経験こそが、今の自分を創り、青年部活動の本質を知るきっかけとなった。

【青年部とは・・・】

青年部とは自分自身を成長させてくれる所。特に役を受けたことで、更に自分自身を大きく成長させることが出来た。青年部は、仲良しこよしの団体ではない。本気だから真剣になれるし、本音で語り合える場所。自分に対して厳しく言ってくれる仲間が出来る場所が青年部だと私は思う。本気で叱ってくれる先輩がいた。自分の意見を真剣に聞いてくれて、本気で気持ちをぶつけられる仲間がいた。そのような経験が自分を成長させてくれ、いつか自分にも本気で叱れる後輩が出来た。そんな場所が青年部なのだと思う。何事にも真剣に取り組むからこそ、学びがあり、仲間が増え、成長出来るのだと思う。青年部で経験させて頂いたことは、私の人生において大きく、大切な財産となった。卒業後も、青年部で出来た仲間とは、離れていても強い絆で繋がっていられると思う。心の底から、青年部に感謝しています！ありがとう！青年部！！



取材担当 / 活性委員会
 飯田光明 長坂広之
 深谷武史 仰木香
 矢野快子 齋藤登
 藤井浩久 水野裕樹
 山口純一 辻村謙介
 清水裕司 植西均
 七味隆夫 水鳥隆章